

教員選考に係わる提出書類の記載要領

<教員の個人調書>

1. 「年齢」は採用予定日（令和3年4月1日）における満年齢を記入してください。
2. 「本籍地又は国籍」は、日本国籍の方は都道府県名を、外国籍の方は国名を記入してください。
3. 「学歴」の欄について
 - ①大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する場合、すべての学歴を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
 - ②学位、称号の他、技術士、教員等の資格についても「学歴」欄に記入してください。この場合、登録番号も付記してください。なお、学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目も併記してください。
 - ③大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。
 - ④外国の大学等の経歴を記載する場合、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
 - ⑤学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
4. 「職歴」の欄について
 - ①すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
 - ②各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
 - ③研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ④過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあっては、判定結果を含む）を記入してください。
 - ⑤大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
- 5 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ①「所属している学会」には、書類の作成現在、所属する学会の名称を記入してください。

②学会及び社会における活動等のうち、専門分野等に関連する事項を記入してください。

6. 「現在の職務の状況」について

①申請時現在における職務の状況を記入してください。

②「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「部長」「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は、「－」を記入してください。

③勤務状況等については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

7. 「氏名」の欄の印は、本人の署名をもって代えることができます。

<教育研究業績書>

1. 「氏名」の欄について

①印は、本人の署名をもって代えることができます。

②旧姓等の通称名を使用している場合には（ ）書きで本名を併記してください。

2. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

①「研究分野」の欄には、科学研究費補助金審査区分表の「小区分、中区分、大区分」の小区分の名称を用いて、研究分野を示す主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄は、同表の小区分の「内容の例」を参考に、研究内容を示すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、小区分レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。

(参考：https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)

3. 「教育上の能力に関する事項」の欄について

①担当教育の領域および担当予定授業科目に関連する教育上の能力に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

②「年月」は、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

③「概要」の欄には、当該事項に係る概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

④「教育上の能力に関する事項」の記載例

「1 教育方法の実践例」実践例について

- ・フィールドワークの実施、実務事例の導入、マルチメディア機器を活用した授業、擬似的体験の導入、地域住民との意見交換、対話の導入、地域プロジェクトの導入、

公開設計競技の導入、ワークショップ等の導入、タウンウォッチングの導入、授業外における学習促進のための取り組み等

「2 作成した教科書、教材」について

- ・授業や研修指導等で使用する著書、教材等

「3 教育上の能力に関する大学等の評価」について

- ・在職した大学等の採用決定の際等における評価内容
- ・在職した大学等における自己点検・評価での評価結果
- ・在職した大学等の学生による授業評価、教員相互評価等の結果

「4 実務の経験についての特記事項」について

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導
- ・関連職能団体の依頼による研修指導等
- ・専門的な実務に関する教育・研修会の講師等
- ・大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講師等

「5 その他」について

- ・大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- ・国家試験問題の作成等

4. 「職務上の実績に関する事項」の欄について

①担当教育の領域および担当予定授業科目に関連する職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

②「年月」は、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

③「概要」の欄には、当該事項に係る内容の要約のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

④「職務上の実績に関する事項」の例

「1 資格、免許」について

- ・技術士、教員等の資格で、担当教育の領域および担当予定授業科目に関連すると思われるものについて記載してください。

「2 特許等」について

- ・特許、実用新案等で、担当教育の領域および担当予定授業科目に関連するものと思われるものについて記載してください。

「3 実務の経験についての特記事項」について

- ・実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の例等を参考に従事した仕事、職務内容、成果等を記載してください。

例

- ・公園緑地の管理、運営に関する業務の担当実績

・緑環境に関する技術指針、手法開発、マニュアル、手引き書等の作成に関する業務の担当実績

- ・緑環境に関する調査分析に関する業務の担当実績
- ・各種審議会、行政委員会等の委員

「4 その他」

- ・関連職能団体からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

⑤資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

5. 「研究業績等に関する事項」の欄について

①「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

②「著書、学術論文等の名称」の項について

- ・(著書)、((学術論文) および(その他)の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ・著書については、書名を記入してください。
- ・学術論文については、学術雑誌、学会機関紙、研究(技術)報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文はその旨を明記してください。
- ・その他については、学会作品選集、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等は、当該テーマを記入してください。

③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には「共著」と記入してください。

④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

- ・著書については、発行所を記入してください。
- ・学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

- ・報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

- ・当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
- ・共著の場合は、本人の担当部分の概要及び掲載頁(例 P〇〇～P〇〇)を明記し、また、本人の氏名(下線を付すこと)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。
- ・共著の場合で本人の担当部分を抽出するのが困難な場合、その理由を記入してください。